

## 「個人的な指示と挨拶」

2019年05月02日

テモテへの手紙 二 4章9節～22節 ぜひ、急いでわたしのところへ来てください。デマスはこの世を愛し、わたしを見捨ててテサロニケに行ってしまう、クレスケンスはガラテヤに、テトスはダルマティアに行っているからです。ルカだけがわたしのところにいます。マルコを連れて来ててください。彼はわたしの務めをよく助けてくれるからです。わたしはティキコをエフェソに遣わしました。あなたが来るときには、わたしがトロアスのカルポのところに置いてきた外套を持って来ててください。また書物、特に羊皮紙のものを持って来ててください。銅細工人アレクサンドロがわたしをひどく苦しめました。主は、その仕業に応じて彼にお報いになります。あなたも彼には用心なさい。彼はわたしたちの語ることに激しく反対したからです。わたしの最初の弁明のときには、だれも助けてくれず、皆わたしを見捨てました。彼らにその責めが負わされませんように。しかし、わたしを通して福音があまねく宣べ伝えられ、すべての民族がそれを聞くようになるために、主はわたしのそばにいて、力づけてくださいました。そして、わたしは獅子の口から救われました。主はわたしをすべての悪い業から助け出し、天にある御自分の国へ救い入れてくださいます。主に栄光が世々限りなくありますように、アーメン。

プリスカとアキラに、そしてオネシフォロの家の人々によろしく伝えてください。エラストはコリントにとどまりました。トロフィモは病氣なのでミレトスに残してきました。冬になる前にぜひ来ててください。エウブロ、プデンス、リノス、クラウディア、およびすべての兄弟があなたによろしくと言っています。主があなたの霊と共にいてくださるように。恵みがあなたがたと共にあるように。

上記のような具体的な指示を書けるのは、本人しかなく、筆者はパウロ自身ではないかという人もいるが、史的事実を確かめる術はない。この時、パウロはローマにルカと二人だけでいると思われる。デマスはパウロを見捨ててテサロニケに行った。クレスケンスはガラテヤに、テトスはダルマティアに行き、ティキコはエフェソに遣わした。パウロはエフェソにいるテモテに急いで来てほしいと願っている。来る時には、私の務めをよく助けてくれたマルコを連れて来てほしい。また、私がトロアスのカルポのところに置いてきた外套、また書物、特に羊皮紙のものを持って来てほしいと言う。私の語ることに激しく反対し、私を苦しめた銅細工人アレクサンドロには用心なさい。主は、その仕業に応じて彼に報われるであろう。私の最初の裁判の弁明の時には、誰も助けず、皆私を見捨てた。しかし、その責めが彼らに負わされないように祈る。誰からも助けてもらえなかったが、主が助けて下さった。私を通して福音があまねく宣べ伝えられ、すべての民族がそれを聞くようになるために、主は私の傍にいて、力づけ、危険な獅子の口からも救われた。主は私を全ての悪い業から助け出し、天にある御自分の国へ救い入れて下さった。「主に栄光が世々限りなくありますように、アーメン」と賛美している。

「著者」は最後に、弟子たちからの挨拶を記し、弟子たちの消息を伝えている。プリスカとアキラに、そしてオネシフォロの家の人々によろしく。エラストはコリントに留まり、トロフィモは病氣なのでミレトスに残してきた。エウブロ、プデンス、リノス、クラウディア、およびすべての兄弟があなたによろしく。テモテに冬になる前に来てほしいと願い、彼への「主があなたの霊と共にいてくださるように。恵みがあなたがたと共にあるように」という祝福で締めくくっている。